

## 少子化要因調査・分析事業の中間報告について

### 1. 事業の目的

能代市の合計特殊出生率や出生数など少子化に関連する指標が、全国平均及び県平均と比べて低い結果がでていることから、その要因を分析するほか、県内他市町村との格差の要因を分析し、今後の地域の実情に即した効果的かつ効率的な少子化対策等に反映していく基礎資料にすることを目的とする。

### 2. 事業概要

数値化が困難な地域の慣習、文化、住民意識などについて学術的な観点からフィールドワーク（旧能代市と旧二ツ井町の2地域での現地ヒアリング）を実施し、統計数値に現れない要因などについて分析を行う。

### 3. フィールドワークの実施状況

実施日：12/10（火）～12/11（水）、12/26（木）～12/27（金）

対象者：以下のとおり

対象者	人数	内容
市職員 （子育ての担当部署等）	5名	若者の流出やUターン、結婚や出産・子育てに関する状況や支援の取組
民生委員、自治会長	4名	地域の若者の動向及び家族観に関する特徴や時代的变化などの質問
婚活イベントの実施団体の代表及び担当者	5名	活動を通じて感じていることや地域の未婚者に関する特徴など
保育所の園長	2名	送迎や子育て全般に関する特徴（両親の働き方との関係、祖父母のサポート、父方・母方祖父母での差異など）
高校の進路指導の先生	2名	進学や就職における学生の意識
合計	18名	